

平成26年度 木材利用推進全国会議 ― 宣言 ―
～ 木材利用推進の新たな展開に向けて ～

木材の利用は、人々の暮らし、地球環境の保全、農山村地域の振興等に大きく貢献するものであり、林業の成長産業化を実現していくためにも、その拡大を進めていくことが重要である。

木材の需要動向は、住宅着工の停滞等により全体としては停滞・伸び悩みの状況にあるが、国・地方自治体の施策、多くの関係者の永年の努力により、木材利用への関心は大きく広まりつつある。

このような中で、我々は、国民の支援を得つつ住宅、公共施設等のほか、商工業施設、身の回り用品などに木材利用が一層促進されるよう、次の事項を重点として中央、地方、一丸となった新たな機軸での活動を展開していくこととする。

- 1 住まい・商工業・店舗・公共施設等の街空間、身の回り用品などへの木材利用の一層の促進
- 2 公共建築物等や農林水産、道路等公共土木工事における木材利用の一層の促進
- 3 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への木材の活用
- 4 間伐材製品の利用促進、未利用材の木質バイオマスエネルギー利用等の促進
- 5 新たな木材分野の拡大のための木材製品・生産・利用技術開発などの促進
- 6 J A S、合法性証明等安全・安心の木材・木製品の供給・利用の促進
- 7 需要者・消費者、行政関係機関との徹底した連携による、木材利用推進運動の展開

平成26年7月30日
木材利用推進全国会議